

### 第3学年国語科学習指導案

1 日 時 令和元年10月9日(水) 第5校時(13:25~14:10)

2 場 所 3年教室

3 単元名 絵文字について説明しよう「くらしと絵文字」

#### 4 単元目標

○ 自分の考えた「防災絵文字」について、進んで説明する文を書き、発表しようとする。

【関心・意欲・態度】

○ 絵文字が広く使われているわけを、その特長に気をつけながら、整理して読むことができる。

【読むこと】

◎ 絵文字を説明する文章を「始め・中・終わり」に気を付けて書くことができる。

【書くこと】

#### 5 指導にあたって

##### (1) 児童について

○ 本学級の児童(男子5名・女子4名)は、明るく活発な児童が多く、興味をもったことには意欲的に取り組むことができる。9月に実施したアンケートでは、以下の通りであった。

①国語の学習の中で得意なことは何ですか。	読むこと 6人	書くこと 0人	話すこと聞くこと 0人	漢字 3人
②絵文字を知っていますか。	はい 2人		いいえ 7人	
③絵文字を見てどんな感じがしましたか。	かわいい 1人		役に立ちそう 1人	
④防災に役立つことをすすんでいますか。	机の下にかくれるく んれんをしている		何もしていない	

アンケートの結果より、絵文字に対する認識はあまりないことがわかる。知っていると答えた児童も絵文字の意味を理解していない児童が見られた。国語科に対するアンケートでは、読むことを得意としている児童が多い。書くことは、あまり得意ではない。とくに話すこと、聞くことを得意としていない児童が多い。防災に関しては、学校での避難訓練で学んだ知識を身に付けているが、進んで防災について学んでいこうという意識はまだ育っていない。

○ 1学期の説明文「めだか」の学習では、段落の要点に気を付けて読むことに意欲的に取り組んでいた。説明文を書くという経験はまだしていない。9月下旬に実施された防災学習会では、岩城地区の防災地図による学習の他、土石流や地すべりのしくみについて学び、起震車によって震度5弱の揺れを体感して、災害の恐ろしさを認識している。これらの経験をこれからの学習に生かすことが大切である。

## (2) 単元について

- 本単元は、説明文教材と書く教材が融合している単元である。教材文「くらしと絵文字」を段落のつながりに気をつけて読みとり、絵文字の特長を理解した後、絵文字を説明する文章を書く。教材文ではさし絵が多くあり、文と照応させながら読む力を身に付けることができる単元である。
- 単元の後半部分では、防災に関する絵文字を考え、その絵文字を説明する文章を書く活動を取り入れる。身の回りにあったら便利だと思う防災に関するオリジナル絵文字を考えることで、児童は主体的に取り組むことができると考える。防災に関して学んだことを生かすとともに、図の情報と文章を結びつけて書く力を育成することもできる。
- 防災絵文字は、生きる力を育む防災学習やよりよく社会を生きるためのユニバーサルデザインの学びとつながり、今の岩城の児童にとって有意義な学習内容である。

## (3) 指導について

- 指導にあたっては、まず、教材文を学んだ後に、絵文字紹介文を書くという学習過程の見通しをもたせる。教材文の読み取りでは、絵文字の例を手がかりにして各段落の内容にせまりたい。ワークシートを用いて、分かりやすく整理してまとめるように工夫したい。次に、段落と段落のつながりに目を向けさせて、大きな3つのまとまりを理解させ、筆者のまとめに迫りたい。また、絵文字の三つの特長をまとめたい。

こうして、絵文字について理解を深めた後、各自がオリジナルの絵文字を考え、その説明文を書くようにさせたい。書くことが苦手な児童のために、ワークシートに簡単にまとめるようにさせたい。また、先日の防災学習会で防災に関する興味・関心が高まっているので防災に関する絵文字に指定したい。防災について学んだことを生かすことができると同時に、意欲的に学習に取り組むことができると考える。最後に友達と防災絵文字を紹介し合い、自分の学習を振り返らせてまとめとしたい。
- 本時は、自分が考えたオリジナル防災絵文字を友達に紹介していく時間である。話すことや聞くことが苦手な児童の実態を受けて、話すときや聞くときのポイントを確認するようにしたい。友達の発表に対して、意見が言いやすいように、話型を示したい。絵文字そのものが上手かよりも、説明文の「始め、中、終わり」で必要なことが分かりやすく説明できているかどうか目を向けさせたい。また、防災学習会などで学んだことを生かしているかにも着目し、防災についての正しい知識の定着とそれを活用する力の育成につなげたい。最後に友達の発表や意見を参考にして、自分の学習を振り返らせたい。
- 進んで防災について学んでいこうという意識を育てていくために、学校での防災関連学習の事前、事後指導や、教室の掲示にも工夫をしていきたい。

6 単元の指導計画と評価計画（全8時間）

次	児童の課題意識と主な活動	評価規準	時間
一	<p><b>これからの学習の計画を立てよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>段落のつながりに気をつけて読み、絵文字を説明する文章を書くという単元の見通しをもつ。</li> </ul>	<p>◇ 絵文字を説明する文章を書いて伝え合うことに興味をもち、これからの学習に意欲的に取り組もうとしている。 （発言・ノート） 【関】</p>	1 (1)
二	<p><b>くらしと絵文字との関わりを読みとろう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>形式段落ごとに整理して読みとる。</li> <li>段落構成を考える。</li> <li>絵文字の3つの特長をまとめる。</li> </ul>	<p>◇ 絵文字についての説明を整理しながら読んでいます。 （発言・ワークシート） 【読む】</p> <p>◇ 絵文字の3つの特長を、絵文字の説明と結びつけて読んでいます。 （発言・ワークシート） 【読む】</p>	4 (2) (2)
三	<p><b>オリジナル絵文字を考えて文を書こう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防災に関するオリジナル絵文字を考える。</li> <li>防災絵文字の説明文を書く。</li> <li>自分の考えた防災絵文字を友達に発表する。</li> <li>学習を振り返る。</li> </ul>	<p>◇ 絵文字について考えることに意欲をもって取り組んでいる。 （発言・行動観察） 【関】</p> <p>◇ 絵文字の説明と自分の考えを整理して書いている。 （ワークシート） 【書く】</p> <p>◇ 防災絵文字、説明文について理解を深めようとしている。 （発言） 【関】</p>	3 (1) (1) (1) 本時

7 本時の指導(8/8)

(1) 目標

- 友達と発表し合うことを通して、防災絵文字、説明文についての理解を深めることができる。

(2) 準備

防災絵文字 大型テレビ

(3) 展開

主な学習活動	形態 時間 (分)	教師の働きかけ(○)と 予想される児童の反応(・)	教師の支援(○)と評価(◇)
1 前時までの復習をする。	(全) 2	○ 絵文字の特長はどういったところですか。 ・ その絵を見た瞬間にその意味が分かること ・ つたえる相手に親しみや楽しさを感じさせること ・ その意味が言葉や年齢の違いを超えて分かること	○ 学んだことを確認させることで、本時の学習で注意する点をはっきりさせる。
2 絵文字を友達と発表し合う。	(全) 36	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">防災絵文字を発表して、考えよう。</div> ○ 自分の絵文字について発表し、友達と感想を伝え合おう。 ○ 発表で話すときは、ゆっくりはっきりと話そう。 ○ 発表を聞くときは、内容が分かりやすく書かれているかを考えよう。 ○ 感想発表のときは、分かりやすかったところを言おう。  〈非常口のマークの場合〉 ・ (始め) ここから逃げるという意味 ・ (中) 人が走っている様子 第三の特長 ・ (終わり) あわてているので助かる	○ 発表会での学習ポイントがずれないように、まず、気を付ける点を確認させておく。 ○ 発表の仕方や絵文字のおもしろさよりも、説明内容や防災関連に目を向けさせるように助言する。  ◇ 防災絵文字について友達と感想を伝え合い、考えることができたか。
3 学習を振り返る。	(個) ↓ (全) 7	○ 今日の学習で学んだこと、考えたことは何ですか。 ・ 絵文字は便利だな。 ・ 説明文を分かりやすくするために直したらよいところがはっきりしてよかった。 ・ 人に分かりやすく伝えるのは難しい。 ・ 防災についてもっと詳しく知りたい。 ・ 災害にそなえていくことが大切だ。	○ 個人別で書かせることによって、説明文、防災についてじっくりと考えさせる。  ◇ 防災絵文字、説明文の理解を深めることができたか。

8 研究授業評価の視点

- 自分の絵文字を伝え合うことで、児童同士の関わり合いが適切に行われているか。
- 自分の絵文字について、人に分かりやすい説明ができたか。